

かわさき

みず べ ち し みん ちょう さ

水辺地市民調査マニュアル

川 編^{へん}



しゃしん に かりようすい た ま くしゅく が わら
写真：二ヶ領用水（多摩区宿河原）



ロップ君



Colors, Future!

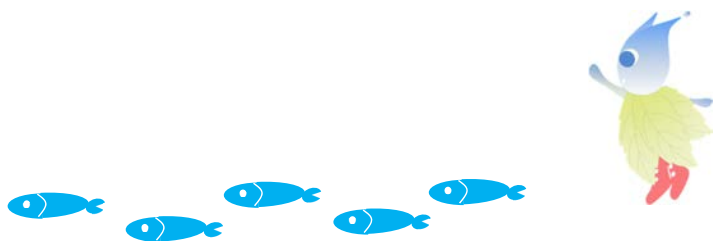
いろいろって、未来。

川崎市

〇はじめに

かわさきし た ま が わ つるみがわ じゅうたくち
川崎市には多摩川、鶴見川などの大きな川から住宅地の中を流れる川
まで多くの川があります。川は人が利用する水の通り道としてだけではなく、
多くの生物が生活する場としての役割も持っています。

このマニュアルは、みなさんに川を身近に感じていただくとともに、川
の状況について、水質だけではなく、水辺の近づきやすさや生き物の豊
かさなど、水辺地を総合的に評価するための手引きです。学校での総合
的な学習の時間や理科の学習、夏休みの自由研究、市民活動などに、
ぜひご活用ください。



○調査をする時の注意

- ・調査は必ず2人以上で行ってください。小学生以下のお子さんは必ず大人の人と一緒に行きましょう。
- ・天気の変化に十分注意し、危険を感じたらすぐに調査をやめましょう。天気の悪い日や悪くなりそうな日は調査をするのはやめましょう。
- ・万が一の場合に備えて、調査の前に病院の連絡先や場所を確認しておいてください。
- ・安全や暑さに備え服装は帽子・長袖・長ズボンとし、動きやすく汚れても良いものにしてください。
- ・ごみはその場に散らかさず、家まで持ち帰ってください。

【水辺に近づけない場所】

- ・橋の上や道路で調査する場合は、自動車、自転車、歩行者に注意してください。
- ・橋の上や道路からの採水は、水面までの距離があり、風があるとバケツが大きく揺れるなど危険ですので、十分注意しましょう。
- ・水をくんだバケツは重くなりますので、引き上げに注意してください。
- ・川には橋以外にも木の枝などが出ていることがありますので、採水バケツのひもがからんだりしないように注意してください。
- ・フェンスや柵などを乗り越える行為は危ないのではありません。

【水辺に近づける場所】

- ・川沿いの遊歩道や橋などは足元が非常にすべりやすくなっているの転ばないように注意してください。
- ・川の中に入る時はぬれても良いくつなどをはいて調査してください。また、草むらなどに入るとハチやヘビがいるかもしれません。十分注意してください。
- ・植物や動物を観察する場合は、植物などをむしったりせず、魚や虫などの生物はその場で静かに見ることにし、絶対に持ち帰らないでください。

も もの ○持ち物

◎がついているものは必ず準備し、その他のものはあれば準備しましょう。

ばんごう 番号	どうぐ 道具	チェック欄
1	◎この冊子	
2	◎記録用紙	
3	◎筆記用具（鉛筆やシャープペンシルなど）	
4	◎バインダー	
5	◎長さを測れるもの（定規、メジャーなど）	
6	◎採水バケツ（ペットボトル採水バケツ※ ¹ ）	
7	ジョウゴ、お茶パック、輪ゴム	
8	◎500mL のペットボトル 1 本 追加項目も 行う場合は 2 本（1 本は水道水を満たす）※ ²	
9	色見本（P26 をカラー印刷したもの）、白いボード	
10	温度計（水の中で使えるもの）	
11	底生動物採取用の網（網目の細かいもの）	
12	デジタルカメラなど	
13	◎動きやすく汚れてもいい服（長袖・長ズボン）	
14	（夏は熱中症対策のため）帽子、飲み物、タオル等	
15	◎ぬれても良いくつ ※ ³	

※¹ ペットボトル採水バケツの作り方・使い方は巻末に載っていますので参考にしてください。

○ でこぼこが少ない

× でこぼこが多い

※² 水質調査で使う「ペットボトル」は水を見比べるので、表面のでこぼこが少なくなつて無色透明なもの（下の写真左）が良いです。炭酸系飲料で使われていることが多いです。また、水の色やにおいの確認に使用するので、においのない飲み物で、よく洗ったものを準備してください。



※³ 川の中に入る場合、長ぐつは水が入ると危険なのでやめましょう。

「でこぼこが少ないペットボトル」（左）と「でこぼこが多いペットボトル」（右）の例

ちょうさこうもく ○調査項目

ちょうさは、下の表の基本項目1～6を実施してみましょう。

余裕がある場合は、上級者向けの追加項目もあわせて実施してみましょう。そうすることで、より詳しく川の環境を調べることができます。

基本項目

ちょうさこうもく 調査項目	ちょうさし、き 調査時期	天気の影響	ちょうさほうほう 調査方法
1 近づきやすさ 【水辺地※】	いつでも	なし	人が水辺に近づけるかを、目で見て確認します。
2 ごみの有無 【水辺地】	夏・冬	あり	川岸、川の中のごみの量を、目で見て確認します。 →ごみは景観・水質の面から問題です。 わたしたちの行動により最も改善しやすい項目です。
3 とり、さかな、むし 鳥、魚、虫など 【生物】	鳥類：初夏・秋 魚類：初夏・冬 底生動物：早春・夏	あり	鳥類、魚類、底生動物を調査します。 鳥類・魚類：目で見て確認します。 底生動物：網でつかまえます。
4 水の流れの有無 【水量】	夏・冬	あり	川の水の流れ具合を確認します。 →水が停滞すると、水中の酸素が減り、魚類やその他の生物の生息場が悪化します。川崎市では流量の減少が問題になっています。
5 川の水の色 【水質】	夏・冬	あり	川の水の色やにごりを目で見て確認します。
6 におい 【水質】	夏・冬	あり	川の水をくみ、においを確認します。

※「水辺地」は人と水のふれあいの場となり、豊かな水環境の営みを見ることができる場所です。川崎市では「水辺地」を良好な水環境像の要素の1つとしています。

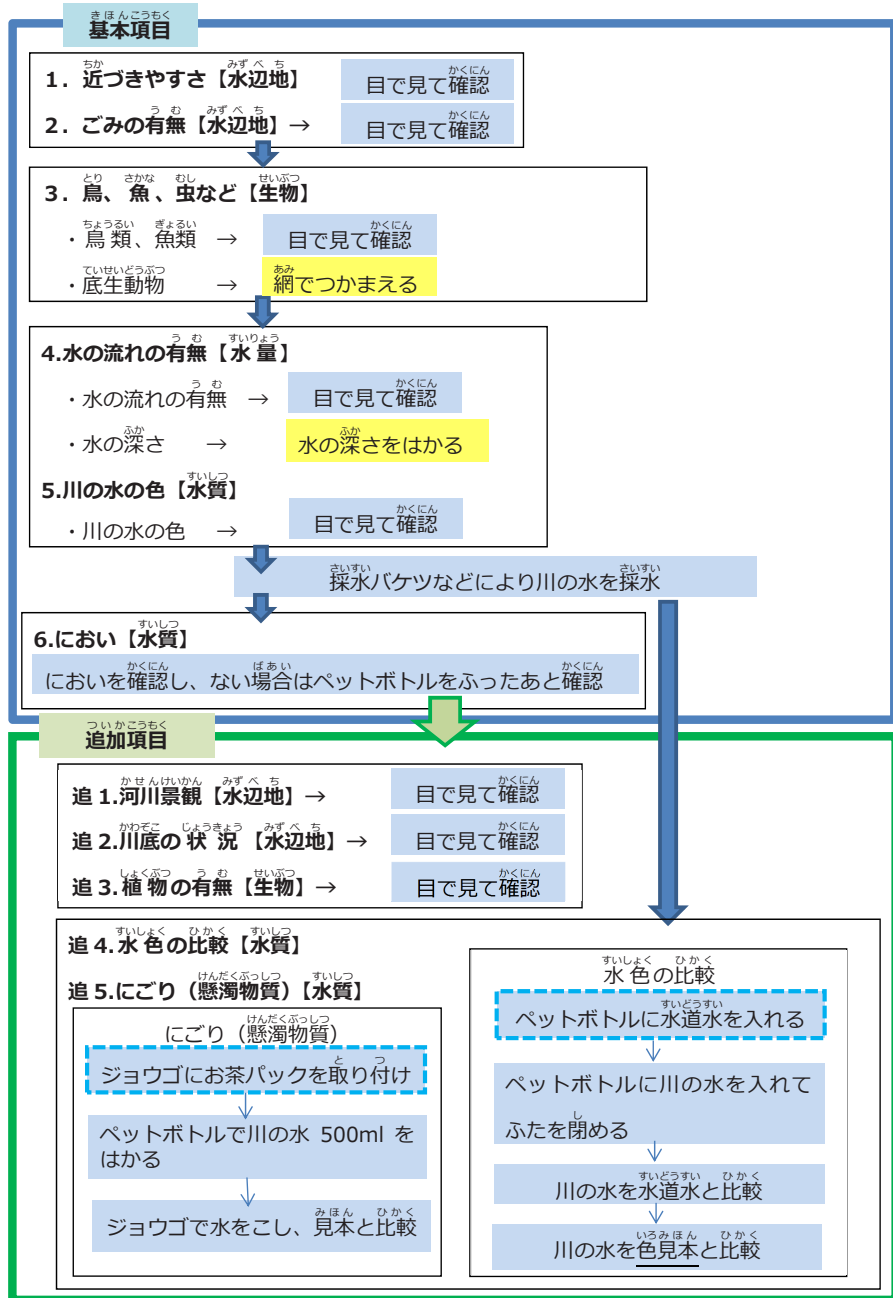
つかこうもく
■追加項目

ちやうきこうもく 調査項目		ちやうき し き 調査時期	天気の えいきよう 影響	ちやうきほうほう 調査方法
追1	かせんけいかん 河川景観 【水辺地】	いつでも	なし	しゅうへん みりよく ふうけい 川の周辺に魅力ある風景などがあ るか確認します。
追2	かわそこ しょうきよう 川底の状況 【水辺地】	なつ ふう 夏・冬	あり	かわそこ しょうきよう かくにん 川底の状況を目で見て確認しま す。 →かわそこ すな いし 川底に砂や石などがあると、魚類 や底生動物のすみかとなります。
追3	しょくぶつ う む 植物の有無 【生物】	なつ 夏	あり	かわぎし しょうぶつ 川岸や川の中の植物を目で見て 確認します。 →しょくぶつ きょるい ていせいどうぶつ 植物は魚類や底生動物のすみか となります。
追4	すいしよく ひかく 水色の比較 【水質】	すいどうすい ひかく 水道水との比較 なつ ふう 夏・冬	あり	川の水をくみ、すいどうすい さ 水道水と色に差があ るか確認します。
	いろみほん ひかく 色見本との比較	なつ ふう 夏・冬	あり	川の水をくみ、いろみほん くら しきど 色見本と比べ色度を 確認します。
追5	にごり (けんどくぶつ) 【水質】	なつ ふう 夏・冬	あり	川の水をくみ、けんどくぶつ りょう かくにん 懸濁物質の量を確認 します。



ちょうさてじゅん ○調査手順

事前準備: 川に入らない作業: 川に入る作業:



ちょうさほうほう ○調査方法

まず、下記のホームページなどを参考に調査する場所を決めます。家や学校、職場の近くで、川をゆっくり眺められる場所があればはじめはそこが良いです。調査当日は、川の見通せる範囲を決め、調査する人で確認します。橋と橋の間など、目印があるとわかりやすいです。範囲を決めにくい時は、川が見通せる範囲（例えば、ある地点から川沿い50m程度）などとしましょう。調査結果は、記録用紙に記録します。カメラがある場合は、川の様子（水の流れや色、川岸やその周囲の風景など）がわかる写真を撮っておきましょう。

さんこう 参考URL

「川崎市HP 水辺地マップ-ガイドマップかわさき」

<http://kawasaki.geocloud.jp/webgis/?mp=54>

ちょうさはんい きとき ちゅうい ※調査する範囲を決める時の注意

- 大きな支川との合流点や川の幅や護岸の状況などが変わっている場所など、環境の条件が大きく変わる場所は避けてください。

- 大きな排水口などが近くにある場合は、排水口から出てくる水の影響を受けてしまうかもしれません。大きな排水口などの近くでは調査しないようにしてください。

どうしても排水口の近くで調査をする場合は、排水口から上流側で、調査する範囲を設定してください。



ほんせん しせん ごうりゅうてん れい
本川と支川の合流点の例



はいすいこう ばしよ れい
大きな排水口がある場所の例

■ 基本項目

1. 近づきやすさ【水辺地】

人が川(水)に近づけるかを、川の水に触ることができるかどうかで判断します。下の写真を参考に、3 つの中から最も近いものを記録します。
広い範囲で水辺に近づける場合はA、両岸がコンクリートになっていても水辺に下りる階段がある場合はB、フェンスで囲われており、人が入れない場合はCとしてください。



A. 広い範囲で水辺に近づける



B. 両岸はコンクリートだが階段などで一部近づける



C. フェンスなどで囲われ近づける場所がない

2. ごみの有無【水辺地】

川の岸や中にごみが落ちているかを確認します。落ち葉や枯れた草など、自然にあるものはごみとしてかぞえません。



A. ごみはない



B. 目の届くところに目立つごみがあるが5個より少ない



C. 目の届くところに目立つごみが5個より多い

3. 鳥、魚、虫など【生物】

鳥類、魚類、底生動物のいずれか1つを調査します。底生動物は、川に入る状態であれば調査してください。カメラがある場合は見られた生物を写真で記録してください。

参考URL

「川崎市HP 水辺の生きもの-かわさき-」
<http://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/29-3-6-6-0-0-0-0-0-0.html>
「川崎市HP ～水辺の生きもの写真館～」
<http://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000062887.html>
「環境省HP NATS自然大好きクラブやってみよう！調べよう！」
「ちょっと役立つミニ図鑑」
<https://www.env.go.jp/nature/nats/>

● 鳥類

水辺の鳥を観察します。川の広い範囲を眺められるところから、15分ほど、静かに鳥を観察します。

A. サギの仲間またはカワセミがいる

☐ いくつかの種類がみられた

B. カモの仲間(水鳥)がいる

C. 水辺の鳥はいない

また、いくつかの種類がみられた場合は記録してください。

(サギとカモがみられた時はAとし、いくつかの種類にチェックします。)
【水辺にすむ鳥の写真】



サギの仲間 (左: アオサギ 右: コサギ)

カワセミ

カモの仲間 (カルガモ)



カモの仲間 (左: マガモオス、左中: マガモメス、右中: コガモオス、右: コガモメス)

● 魚類

調査範囲で川の中をのぞくことができる場所から、魚を観察します。

A. コイ以外の魚がいる

☐ 群れがみられた

B. コイのみがいる

C. 魚はいない

また、魚の群れがみられた場合は記録してください。

(コイとコイ以外の魚がみられた場合は、Aと記録します。)

● 底生動物

川に入り、水の中の石を拾い、裏を確認します。平べったい虫や、いも虫のような生物がついていないか確認します。なお、川の石は大きいものが多いかもしれませんので、拾える大きさの石を探して確認してください。

小さな網を持っている場合は、網で川べりの植物の中を探してみても良いです（ヤゴやエビがとれるかもしれません）。いろいろな場所で探してみてください。

A. 底生動物がいる

B. 底生動物はいない



コヤマトンボ



ヒゲナガカワトビケラ



ヒラタドロマシ

コラム

かわさき生き物マップでは 生き物の情報を募集しています！

川崎市では、身近な生き物の情報を募集し、地図情報としてわかりやすく発信する「かわさき生き物マップ」を運用しています。

水辺地の調査で集めた生き物の情報も、ぜひホームページに投稿してください。みなさんの身の回りの生き物の情報をお待ちしています！

「かわさき生き物マップ」

<http://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000057126.html>

4. 水の流れの有無【水量】

調査範囲の中で、一番流れが速いところの水の動きを目で見て確認します。水が動いていることがわからない場合は、落ちている植物の葉や小枝を川に投げ入れ、水の動きを確認してください。



A. 音がするなど、明らかに流れている



B. よくみると流れている



C. ほとんど流れていない、水が枯れている

○参考 水の深さ

定規などを使って水の深さを測定します。なるべく川の中心付近で測定する方が良いですが、流される危険性もあるので、安全な場所で測ってください。水辺に近づけない場所では、例えば護岸のブロックなどがどのくらい水につかっているかなどの目安で判断し、ブロック 2 個分など目安を記入してください。

- A. 60cm以上、 B. 40～60cm、 C. 20～40cm、
D. 10cm～20cm、 E. 10cm未満

※川では、水の流れていく方向、つまり下流にむかって、右岸・左岸というよびかたをします。



5. 川の水の色【水質】

川の水の色とにごり具合を確認します。水が流れているところと、止まっているところがある時は、流れているところで確認してください。



A. にごっていない



B. 薄く緑や茶色ににごっているが、気持ち悪くはない



C. 緑色や茶色ににごっていて気持ち悪い

※まわりの木々や夕日の反射など、周辺の景色が映り込んで緑やオレンジ色に見える場合がありますので、注意してください。

6. におい【水質】

川の水をくんで、においを^{かくにん}確認します。まず、^{かんさつ}観察の^{まえ}前に、^{つか}使うもの（水をくむ^{さいすい}採水バケツ、水道水が入っていない^{すいどうすい}ペットボトルなど）を川の水でよく^{あら}洗ってください。

よく^{あら}洗った^{さいすい}採水バケツやペットボトルなどで、川の水をくみます。この^{とき}時、^{そこ}底の^{どろ}泥を^ま巻き^あ上げたり^{どろ}泥ごと水を^{ひょうめん}取らないで、^{ひょうめん}表面の水をくむようにしてください。うまくくめなかった場合は^{ばあい}場所を^{ばしょ}少し^{しょうりゅうがわ}上流側^かに変えるか、少し^ま待ってからもう一度くんでください。

ペットボトルに半分くらい川の水を入れ、においをかぎます。

においがしない場合は、しっかりと^しふたを^{びょうかん}閉め、20秒間ペットボトルを^{ふり}まわします。そのあとすぐに^{ふた}ふたをあけ、においをかぎます。

何のにおいかわかる場合は^{ばあい}記録^{きろく}しておきます。

A. ペットボトルを^ふっても、においがしない

B. ペットボトルを^ふると、においがする

C. ペットボトルを^ふらなくても、においがする

においの^{しゅるい}種類

^{しゅう}カビ臭、^{しょくぶつせいしゅう}植物性臭、^{つちしゅう}土臭、^{きんぞくしゅう}金属臭、^{げすいしゅう}下水臭、^たその他

■追加項目（上級者向け）

追1. 河川景観【水辺地】

川の周りの様子を観察します。水辺の景色に魅力はありますか。見つけたらカメラなどで写真を撮ったり、メモで記録してください。

A. 魅力あり B. 魅力なし

<主な視点>

【良い例】

- ・川とその沿道の並木が調和している。花の時期に訪れたい。
- ・川沿いに遊歩道があり、散歩したい。
- ・水辺に近づきたくるようにきれいに管理されている。

【悪い例】

- ・ベンチに腰掛けても、目の前を流れる川の水がにごっている。
- ・車の通りが多く、騒がしくて落ち着かない。

など

【河川景観の例】



川沿いに遊歩道が整備されている



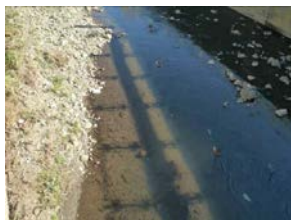
川と沿道の並木が調和し、花の時期に訪れたい



春の様子

追2. 川底の状況【水辺地】

川底の状況を目で見て確認します。コンクリートに砂などが全面にたまっている場合は、Aと記録します。



A. ほぼ全面に砂や石がたまっている



B. 砂や泥が全体の2～9割程度、たまっている



C. ほぼ全面がコンクリートになっている

追3. 植物の有無【生物】

川の岸や水の中に植物が生えているかどうか、目で見て確認します。
(川岸と水の中の両方に植物がある場合は、AとBの両方を記録します。)



A. 川岸にある



B. 水の中にある



C. 植物はない

追4. 水色の比較【水質】

川の水をくんで、水の^{じょうきょう}状^{かんさつ}況^{すいしつ}を^{かんさつ}観^{まえ}察^{つか}します。まず、^{かんさつ}観^{まえ}察^{つか}の前^{まえ}に、使^{つか}うもの(水をくむ採^{さいすい}水^{すいどうすい}バケツ、水道水が入っていないペットボトル、ジョウゴ)を川の水でよく洗^{あら}ってください。

よく洗^{あら}った採^{さいすい}水^{すいどうすい}バケツやペットボトルなどで、川の水をくみます。この^{とき}時^{そこ}、底^{そこ}の泥^{どろ}を巻^まき上^あげたり泥^{どろ}ごと水を取らないで、表^{ひょうめん}面^{めん}の水をくむようにしてください。うまくくめなかった場合は場所を少し上^{じょうりゆうがわ}流^か側^かに変えるか、少し待^まってからもう一度くんでください。



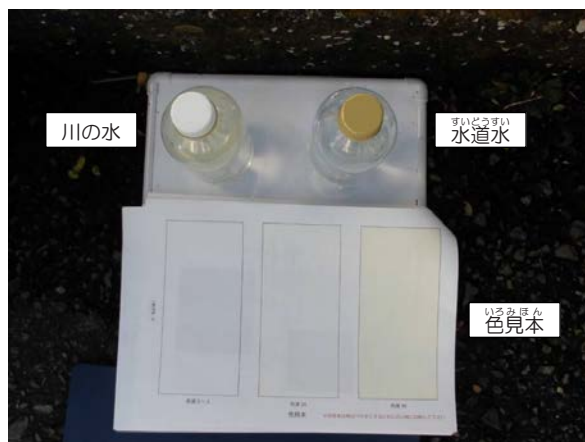
(1) 水道水との比較

川でくんだ水をすぐに空のペットボトルに口いっぱいまで入れます。そのあと、日かげに3分間置いておきます。

川の水を入れたペットボトルの横に、水道水で満たしたペットボトルを並べます。色に差があるかどうかを記録してください。

(2) 色見本との比較

色見本と比較して、色度（色の付き具合）を確認します。ペットボトルを並べて横から見比べるだけでなく、白いボードの上などにのせて上から見比べると色の違いが分かりやすいかもしれません。外が明るすぎたりしてわかりにくい場合は家に持って帰って実施しても良いでしょう。



色見本と比較した様子

追5. にごり（懸濁物質）【水質】

水をくむ前にお茶パックを取り付けたジョウゴを用意してください。ジョウゴの完成イメージは下の写真を参考にしてください。（写真のジョウゴの出口は直径1cm程度です。）

お茶パックは、ジョウゴの大きさに合わせて4つ折りなど小さく折りたたんでから輪ゴムでしっかり取り付けてください。



輪ゴム、お茶パック、ジョウゴ



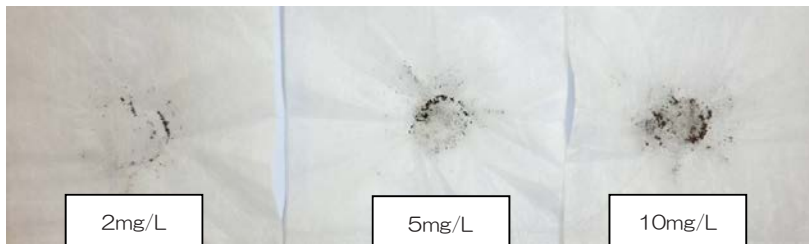
お茶パックを取り付けたジョウゴ

ジョウゴのセット例

くんですぐ、500ml はかりとり（空のペットボトルにくんだ水を満たします）、お茶パックを取り付けたジョウゴに注ぎます。持ってきた水道水をペットボトルに少し入れ、底や内側についている懸濁物ごと、ジョウゴに注ぎます。最後にジョウゴの表面に懸濁物がついていないかを確認します。ついている場合は水道水で流します。

お茶パックを丁寧に外して、下の見本と比較します。

A. 2mg/L未満 B. 2~5mg/L C. 5~10mg/L D. 10mg/L以上



懸濁物質濃度の見本

ちょうさけっか ○調査結果のまとめ

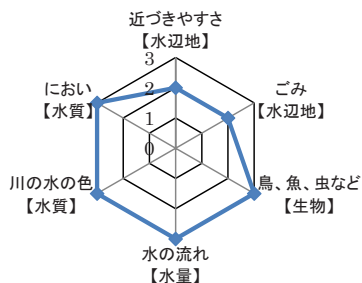
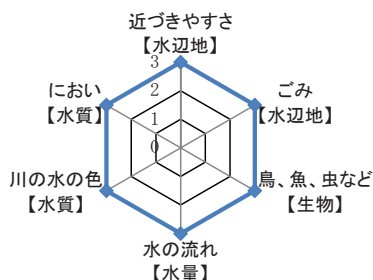
きろくようし きろく けっか はじ きろくようし
記録用紙に記録した結果をまとめます。始めに、記録用紙がもれなく
きにゅう きにゅう かくにん きにゅう とし か
記入されているかを確認します。記入もれがあった時は、思い出して書け
る場合は記入しておきます。

ちょうさちてん はんにい かとう ちす
調査地点や範囲はわかりにくくなることが多いので、可能であれば地図
をつけるようにします。インターネットの地図(Googlemapなど)を印刷
したもの、てが ちょうさ ばしょ きにゅう ほうほう もっと かんたん
に、手書きで調査した場所を記入する方法が最も簡単です。(作
った地図はホチキスなどで、きろくようし いっしょ
記録用紙と一緒にしておきます。)

さいご ちょうさけっか てんすう ちょうさ ばしょ
最後に調査結果の点数を、レーダーチャートにして、調査をした場所の
とくちょう かくにん きほんこうもく じっし ばあい ちょうさけっか てんすう
特徴を確認します。基本項目のみ実施した場合は6つの調査結果の点数
を、ろっかくけい かど たいおう きろく せん てん むす
六角形の角一つずつに対応させて記録し、線で6つの点を結びます。

かんきょう よ ばしょ
環境が良い場所では、レーダーチャートはきれいで大きなろっかくけい
になります(左)。きれいで大きな六角形に近ければ近いほど良い川です。
右の図では、水の流れがあり、せいぶつ せいそく かくにん ちてん
生物の生息も確認された地点ですが、少し
ごみがあり、川に近づけるところがけがき けっか
限られるという結果になります。いく
つかの地点でちょうさをして、レーダーチャートでけっか ひかく おな ち
結果を比較したり、同じ地
てん ふくすうかいちょうさ じっし ひかく かせんかんきょう かんが
点で複数回調査を実施して比較するなど、河川環境について考えてみ
ましょう。

【レーダーチャートの例】



きほんこうもく
【基本項目】

きろくようし
記録用紙

かわさき水辺地市民調査マニュアル(川編)

ちょうさにちじ 調査日時		へいせい 平成	ねん 年	がつ 月	にち 日	じ 時	ふん 分	ちょうさしや 調査者						
天気		とうじつ 【当日】						ぜんじつ 【前日】						
		 はれ	 くもり	 あめ	 はれ	 くもり	 あめ							
ちようさちてん はんい 調査地点・範囲														
ふうそく 風速		きようふう 強風			じゃくふう 弱風			むふう 無風			きおん 気温	℃	すいおん 水温	℃
ちようさけつが 調査結果														
ちようさこうもく 調査項目		ひようか 評価						きこう 記号	メモ					
1	ちか 近づきやすさ 【水辺地】	A. 広い範囲で近づける【3点】 B. 両岸はコンクリートだが階段などで一部近づける【2点】 C. 近づける場所がない【1点】												
2	ごみの有無 【水辺地】	A. ごみはない【3点】 B. 目の届く範囲に目立つごみがあるが5個より少ない【2点】 C. 目の届く範囲に目立つごみが5個より多い【1点】												
3	とり さかな むし 鳥、魚、虫など 【生物】	ちようらい じっし じっし 鳥類（実施した・実施していない） A. サギの仲間やカワセミがいる【2.5点】 □複数の種類がみられた（+0.5点） B. カモの仲間（水鳥）がいる【2点】 C. 鳥はいない【1点】												
	※レーダーチャート には最も高い得点 を記載	ぎようらい じっし じっし 魚類（実施した・実施していない） A. コイ以外の魚がいる【2.5点】 □群れがみられた（+0.5点） B. コイのみがいる【2点】 C. 魚はいない【1点】												
		ていせいどうぶつ じっし じっし 底生動物（実施した・実施していない） A. 底生動物がいる【3点】 B. 底生動物はいない【1点】												

つぎ
→次のページにつづく

4	水の流れの有無 【水量】	A. 音がするなど、明らかに流れている 【3点】 B. よくみると流れている【2点】 C. ほとんど流れていない・水が枯れている 【1点】 ○参考：水の深さははかってみよう A. 60cm以上 B. 40～60cm C. 20～40cm D. 10～20cm E. 10cm未満 測定できない場合は目安をメモ欄に記入する	水の深さ確認位置 中央・左岸・右岸
5	川の水の色 【水質】	A. にごっていない【3点】 B. 薄く 緑 や茶色ににごっているが、 気持ち悪くはない【2点】 C. 緑 や茶色ににごっていて、気持ち悪い 【1点】	
6	におい 【水質】	A. ペットボトルをふっても、 においがしない【3点】 B. ペットボトルをふると、 においがする【2点】 C. ペットボトルをふらなくても、 においがする【1点】	においの種類 ・カビ臭 ・植物性臭 ・土臭 ・金属臭 ・下水臭 ・その他 ()
ぜんたい 全体で気づいたこと			

調査お疲れ様でした。記入もれがないかもう一度確認してください。
余裕があれば追加項目も調査してみましょう。

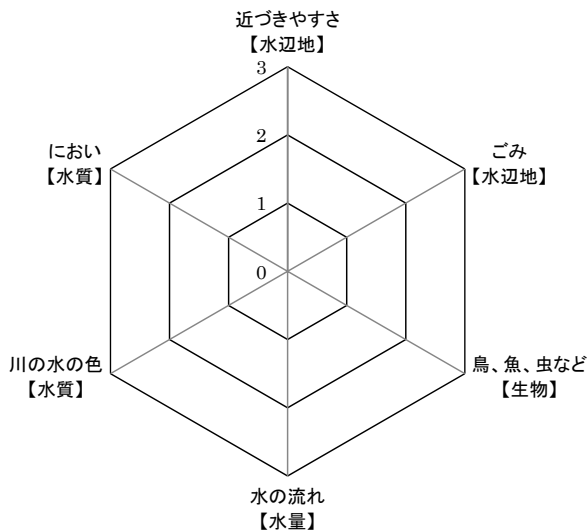
てんすうけいさん きほんこうもく ○点数計算（基本項目）

ちょうさ お てんすう ひょうか ごうけいてん けいさん
調査が終わったら点数をつけて評価の合計点を計算しましょう。

ちょうさこうもく 調査項目		ひょうか きごう 評価の記号	てんすう 点数
1	近づきやすさ【水辺地】		
2	ごみの有無【水辺地】		
3	とり さかな むし 鳥・魚・虫など【生物】 もっと たか てんすう きさい 最も高い点数を記載		
4	水の流れの有無【水量】		
5	川の水の色【水質】		
6	におい【水質】		
ごうけいてんすう 合計点数			

○図（レーダーチャート）

てんすう
点数をつけたら図にしてみましょう。



つかこうもく
【追加項目】

きろくようし
記録用紙

かわさき水辺地市民調査マニュアル(川編)

ちょうきにしち 調査日時		へいせい 平成	ねん 年	がつ 月	にち 日	じ 時	ふん 分	ちょうさしや 調査者	
天気		【当日】				【前日】			
		 はれ	 くもり	 あめ	 はれ	 くもり	 あめ		
ちょうさちてん はんい 調査地点・範囲						ふうそく 風速		きょうふう じゃくふう むふう 強風・弱風・無風	
ちょうさけっか 調査結果									
ちょうさこうもく 調査項目			ひょうか 評価				きごう 記号	メモ	
追 1	かせんけいかん 河川景観【水辺地】		A. 魅力あり【3点】 B. 魅力なし【1点】 (撮影場所:)						
追 2	かわそこ じょうきよう 川底の状況【水辺地】		A. ほぼ全面に砂や石がたまっている【3点】 B. 砂や泥が全体の2~9割程度、たまっている【2点】 C. ほぼ全面がコンクリートになっている【1点】						
追 3	しょくぶつ う む 植物の有無【生物】		A. 川岸にある【3点】 B. 水の中にある【3点】 C. 植物はない【0点】 (複数回答可。複数の回答がある場合も点数の上限は3点とする。)						
追 4	すいしよく 水色の	すいどうすい ひかく 水道水との比較	A. 差がない【2点】 B. 差がわかる【0点】						
	ひかく 比較 【水質】	いろみほん ひかく 色見本との比較	A. 色度0~5 【1点】 B. 色度20 【0.5点】 C. 色度40 【0点】						
追 5	にごり (けんたふぶつ) にがり(懸濁物質)【水質】		A. 2mg/L未満【3点】 B. 2~5mg/L【2点】 C. 5~10mg/L【1点】 D. 10mg/L以上【0点】						
ぜんたい 全体で気づいたこと									

てんすうけいさん ついかこうもく ○点数計算（追加項目）

ちょうさ お てんすう
調査が終わったら点数をつけてみましょう。

きほんこうもく ついかこうもく ひょうか ごうけいてん けいさん
基本項目、追加項目をあわせて、評価の合計点を計算しましょう。

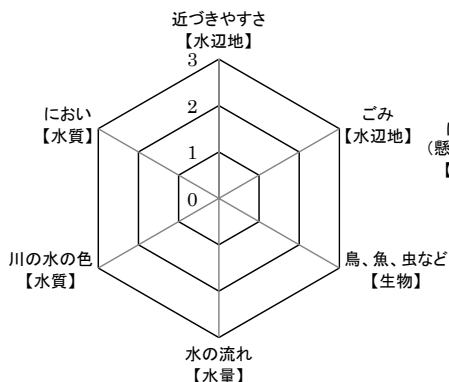
	ちょうさこうもく 調査項目	ひょうか きごう 評価の記号	てんすう 点数
追 1	かせんげいかん 河川景観【水辺地】		
追 2	かわぞこ しょうきょう 川底の状況【水辺地】		
追 3	しょくぶつ う む 植物の有無【生物】		
追 4	ずいしょく ひかく 水色の比較 【水質】	すいどうすい ひかく 水道水との比較	※
		いろみほん ひかく 色見本との比較	
追 5	けんにくぶっしつ にがり（懸濁物質）【水質】		
ついかこうもく けっか ごうけい 追加項目：追 1～追 5 の結果の合計			
ごうけいてんすう 合計点数			

※追 4 は 2 項目の合計点をレーダーチャートで記入する。

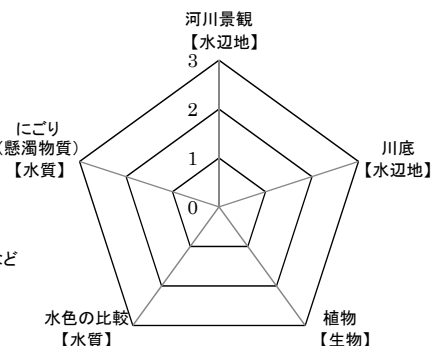
○図（レーダーチャートなど）

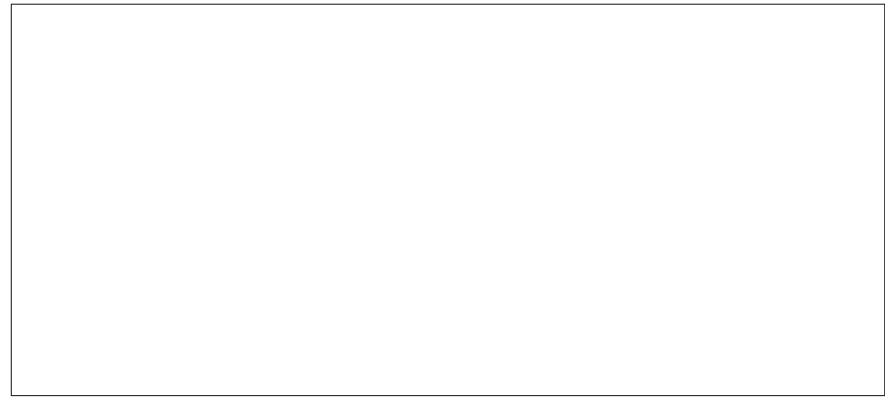
てんすう
点数をつけたら図にしてみましょう。

きほんこうもく ■基本項目



ついかこうもく ■追加項目





しきど
色度 0 ～ 5



しきど
色度 20
いろ み ほん
色見本



しきど
色度 40

※色見本は見比べやすくするために白い紙に印刷してください
いろ み ほん かみ いんぎつ

さんこう さいすい つく かた つか かた ○参考：採水バケツの作り方・使い方

【用意するもの】

- ・ペットボトル 1 本
- ・ビニールひも(ぬれても大丈夫なひも) 10m くらい
- ・カッター
- ・はさみ
- ・目打ちやキリなど^{あな}をあけるもの
- ・つりなどのおもり

【作り方】

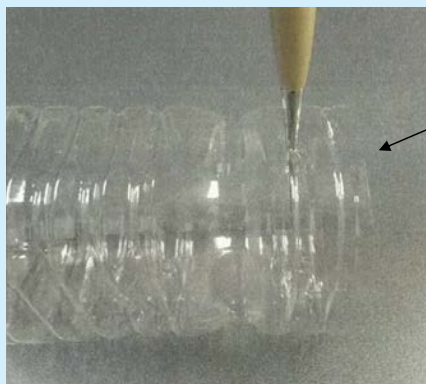
- ①ペットボトルの口の部分^{くちばし}をカッターやはさみ^きで切り取ります。切る時はカッターで切り目をいれ、はさみ^{はさみ}で切るとまっすぐ切れます。ペットボトルは表面^{ひょうめん}が固^{かた}くてすべりやすいので、カッターやはさみを使う時には注意^{ちゅうい}してください。こどものみなさんは大人の人にお手伝い^{てつだ}いを頼んでください。

※ペットボトルの切り口はギザギザになると使う時に手^てを切ってしまうことがあるので、気^きをつけてください。あらかじめ切り口にテープなどを貼^はっておくことをおすすめします。

- ②上^めの方に目打ちやキリ^{あな}で穴^{ついで}を 1 対開^あけます。

ペットボトルは表面^{ひょうめん}が固^{かた}くてすべりやすいので、目打ちやキリ^{あな}を使う時には注意^{ちゅうい}してください。こどものみなさんは大人の人にお手伝い^{てつだ}いを頼んでください。

★切る時はけがに注意^{ちゅうい}してください。
★切り口はギザギザにならないように気^きをつけましょう。



★穴^{あな}あけの時はけがをしな
いように注意^{ちゅうい}してください。

③ひもを 35cm くらい^{きと}切り取ります。き^と取ったひもを^{あな}穴に^{とお}通します。ほどけないよう、しっかり^{むす}結びます。



④もう片方も^{かたほう}おな^{おな}じように^{むす}結びます。



⑤結んだひもの^{ちゅうしん}中心に、^{なが}長い方のひもを^{むす}結びます。



⑥ペットボトルの上の面^{めん}につりなどのおもりをつけて、完成です。

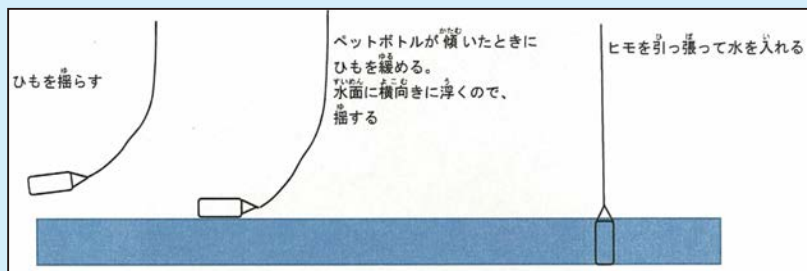


【使い方】

①橋^{はし}や岸^{きし}から採水^{さいすい}バケツを下ろします。採水^{さいすい}バケツを流してしまわないように、ひものはしを橋^{はし}の手すり^{てすり}などに結ぶと安心です。

②ペットボトルが水面^{すいめん}につきそうになったらひもを大きく揺らし、ペットボトルが水面^{すいめん}に横向きになるようにします。コツはひもを揺らすことと、ペットボトルが傾^{かたむ}いた時にひもを緩めることです。

③水が入るよう、ひもを少し引っ張り^{ひっぱ}ります。ペットボトルに水が入ります。
この時に、底の泥^{どろ}を巻き上げたり、泥^{どろ}ごと取らないようにします。泥^{どろ}が巻き上がった
り、入った時は水を取る場所^{ばしょ}を変えてやり直^{なお}します。同じ場所^{おなじばしょ}でやる場合は、少し待
って、泥^{どろ}のにごりがいないことを確認^{かくにん}してからやり直^{なお}してください。



④ゆっくりひもを引っ張^{ひっぱ}ってペットボトルを回収^{かいしゅう}します。

<ポイント>

- 完成した採水バケツのひもは、たこ糸の糸巻きや、ほかのペットボトルなど巻いておくことからまりにくいです。
- 調査する場所の水の深さが浅い場合は、ペットボトルの高さを低くするとくみやすいです。
- あらかじめ水の量が量れるように、ペットボトルに目盛りをつけると便利です。

ロップ君は葉っぱから落ちた一粒の滴（ドロップ）から誕生しました。

湧水の近くの木のほこらに住んでいるロップ君は、人見知りな一面もありますが、川や海の「水」をきれいにすることの大切さをみんなに伝える活動をしています。



川崎市環境局水質環境課

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1

T E L : 044-200-2520

Email : 30mizu@city.kawasaki.jp

平成29年3月発行